NO. 1078　1・15日発行
平成26年（2014年）6月15日（日）
発行所　ラベル新聞社
東京都千代田区東神田３－１－13
神田浅草橋ビル　〒101-0031
電話（03）3866-6577　FAX（03）3866-0105
http://www.labelshimbun.com
編集・発行人　田副　徹
年間購読料16,200円　１部 680円（税込）

ラベル新聞

THE LABEL SHIMBUN
©ラベル新聞社2014
【昭和44年9月30日第三種郵便物認可】

NVS 高速検査装置を発売
ベルパックの協力で開発

ナビタスビジョンソリューション㈱（NVS、横浜市港北区岸根町、辻谷潤一社長、☎045・710・0584）は7月22日㈫、高速検査装置「NaviLab－HSY」と「同－HST」の2機種を発売する。同装置は同社と㈱ベルパック（大阪市生野区巽西、柳澤隆司社長、☎06・6754・7061）が共同開発したもので、NVSの従来機に比べ格段に性能が向上している。

新製品はいずれもロール・ツー・ロールタイプの搬送方式を採用。HSYが横軸型、HSTが縦軸型。

最も性能が向上したのは検査速度で、両製品ともに最大検査速度は毎分300㍍。同社の従来機が最大50㍍であったことから、処理能力は約6倍になった。

画像処理エンジンには独自開発の「ナビタスチェッカーフレックス」を搭載。表示や多色デザインラベルに加え、可変情報印字の品質検査もできる。

新開発の「ハイブリッドフレックス方式」と呼ばれるアルゴリズムは、「0・5㍉」など、事前に設定した数値以上の見当ズレが起きた時だけ欠点とする。一方、印字輪郭部に生じる0・3㍉の欠けや突起、異物などの微細欠陥はこの数値に関係なく検出できる。

従来の一般的な検査装置は、検査設定を厳しくした場合見当ズレを過検知するため設定を甘くせざるを得ず、欠陥を見逃す問題があった。同機では厳しい設定でも過検知せず、欠陥見逃しの問題がない。

検査のためのマスター登録はマウスを数回クリックするだけで完了し、ユーザーの負担も軽い。

HSYは最大用紙幅が500㍉、最大ロール径が800㍉。HSTは最大用紙幅が200㍉、最大ロール径が510㍉（対応サイズは変更可能）。価格は1200万円から。

辻谷社長は「当社検査装置は、高い精度でも無駄に止まらない技術を評価され、450台以上の実績があるが、速度の遅さが課題だった。今回ベルパックの協力で、高速検査と高精度検査の両立を実現させることができた」と話す。

初年度の販売目標は両機種合わせて20台。製品の発表と実演は、7月22日から千代田区の東京国際フォーラムで開催されるラベルフォーラムで行う。

高速検査装置「NaviLab－HSY」